

参加者の声

保護者

- 子育ての再確認ができた気がします。毎日、正解の分からない不安だらけの日々、暗い気持ちになることもありますが、今回笑顔をいただきました。
- 「ありがとう」「だいすき」思っているけど、最近伝えることが少なくなってしまったので、子供たちに伝えていきたい。すごく心が温くなる講演でした。
- どこでも、一緒だなあ 一緒だからこそ先々のために今を見直さなければならぬなあと感じました。貴重な研修に参加できたことを幸せに思います。
- 人と話をするのが苦手な方ですが、普段、幼稚園のお母さん方と話すことがないので、みんな同じような悩みをもっていることに安心しました。そして、無理せず、子どもと頑張って成長できたらいいなあと思っています。
- 普段の悩みもゆったりとした心でみんなで考えたら、答えは意外とシンプルだよな・・・と感じました。大人も子どもも、心の余裕やゆとりが大切。帰ったら子どもをハグしたくなりました。
- 自分の考え以外の他の方のお話しも聞く事が出来、為になりました。子供達が思春期に入る頃に、ここでの時間が大切だと思います。取り入れて行きたいと思います。心の準備になりました。ありがとうございました。
- いつもガミガミ一方的に子供へいつている時が多かったので、一呼吸おいて、待つ心も大切だと感じました。これから子供が相談しやすい環境を作っていきたいと思います。

中学生

- 赤ちゃんが、すごく小さくてびっくりしたし、妊娠した時はしゃがんだり背伸びしたり靴ひもをむすぶのがとても難しくてとても良い体験ができたと思います。
- 赤ちゃんがこんなにも重く、またしゃがむことや靴ひもを結ぶことがとても難しかったです。赤ちゃんは、最初はりのように小さくてびっくりしました。そして、3億分の1の確率なので生まれてきてよかったです。このことを忘れないで生活したいです。
- 今回は、親になることをしっかり学ぶことができて良かったです。その中でも、お母さんが赤ちゃんをあずけることになってその大変さを知る事ができて良かったです。今回はこのいいものをうけることができて良かったです。
- お母さんがどんなに大変だったかが分かった。親に感謝です。
- 赤ちゃん自体は軽いですが、赤ちゃんの命はとても重くなんかすごいなと思いました。

高校生

- みんながどうやって生きてきて、みんなの家族が自分の家のところとどう違い、どんな苦労をしてきたのかがわかった。
- 班の人の話を聞いて、名前には色々な意味が込められているんだなって思いました。自分の小さい頃の話など今まであまり聞いたことがなかったので、親の学びのプログラムを通して知ることができて良かったです。
- こういった活動をすることによって、自分の親が自分に対してどれくらい苦労し、大切に育ててくれたかという事を知ることができてとても良い体験だと思いました。幼い頃についてグループの人と楽しく話をしたりするのが楽しかった。
- 自分がお世話になった人、書き切れないほどいます。その方々を思い出し感謝しなければいけないと改めて思いました。その機会を与えてくれてありがとうございました。
- 自分はたくさんの人に支えられていて生きてることが分かった。私もだれかの支えになりたいと思った。そして、親から付けてもらった名前やエピソードを改めて聞いて温かい気持ちになりました。

教員・支援者

- 子どもと接する上で「笑顔」はとても大切なことだと思いました。今後仕事をする中でも、子どもを含め先生方や保護者の方にも笑顔で接することを忘れずにしたいと思います。
- 一日中過ごす中で「疲れた」と思っている時の表情は、笑顔でいれているかな？と考えさせられました。子供たちは思っている以上に私たちを見ているので、今まで以上に「笑顔」を意識して子供たち、周りの人たちと関わりたいです。
- 普段子供たちを褒めることは多くありますが、自分自身を褒めることがあまりありませんでした。自分自身を褒めることにより「またがんばろう」と思えたり、自信につながっていくんだと気づきました。そして、お話にもあったように毎日子供たちに笑顔を向けられる保育者でありたいと思います。
- 私は、ワークショップは苦手です。なので、今日もドキドキしていました。でも、言葉を発して意見を伝えるのではなく、付箋を書いたの発表だったので、自分の思っていることを素直に書くことができました。とても楽しい時間をありがとうございました。自分へのメッセージカードも大切にします。ありがとうございました。
- お母さん、子供たちが家庭でどんな悩みを抱えているのか、考えることができ、他の人の意見がとても参考になりました。また、最後の手紙でも、自分を肯定する機会が中々ないのでとても新鮮でした。